



モデル・コアカリキュラムへの意見

社団法人日本薬剤師会
常務理事 森 昌平

モデル・コアカリキュラムへの意見

1. 薬剤師を取り巻く環境の変化と薬学教育モデル・コアカリキュラム
2. 薬剤師の任務
3. 薬剤師養成教育を考える
4. カリキュラムプランニング
5. Outcome-Based Education (学習成果基盤型教育)
6. Outcome-Based Education の例
7. 薬学教育の偏り
8. 一般用医薬品に関する教育
9. 調剤業務の変化
10. コアの内容
11. モデル・コアカリキュラムへの現場からの主な意見
12. 知識教育から技能・態度教育へ
13. モデル・コアカリキュラムの見直しに向けて

1. 薬剤師を取り巻く環境の変化と 薬学教育モデル・コアカリキュラム

平成13年

- ・日本私立薬科大学協会「薬学教育モデルカリキュラム」公表
- ・国公立大学学部長会議「薬学教育モデルカリキュラム」公表

平成14年

- ・日本薬学会「薬学教育モデル・コアカリキュラム」公表
- ・診療報酬・調剤報酬改定
(医科－1.63%,
歯科－1.31%,
調剤－4.33%)

平成15年

- ・薬学教育の改善・充実に関する調査研究協力者会議
- ・「実務実習モデル・コアカリキュラム」完成
- ・医療保険制度改革基本方針閣議決定

平成16年

- ・薬剤師養成教育6年制関連法案可決成立
- ・診療報酬・調剤報酬改定
(医科, 歯科, 調剤
±0%)

1. 薬剤師を取り巻く環境の変化と 薬学教育モデル・コアカリキュラム

平成17年

- 医療制度改革大綱公表

平成18年

- 薬剤師養成教育6年制スタート
- 医療法等の一部改正法案成立
- 診療報酬・調剤報酬改定
(医科－1.88%
歯科－1.52%
調剤－2.00%)

平成19年

- 薬局を医療提供施設に位置付け(医療法第1条の2)
- 薬局における安全管理体制の整備(薬事法第9条)
- 薬局機能情報の届出・公表制度(薬事法第8条)
- 患者の居宅での調剤(薬剤師法第22条)
- 「医療提供体制の確保に関する基本方針」の適用

1. 薬剤師を取り巻く環境の変化と 薬学教育モデル・コアカリキュラム

平成20年

- 薬剤師の行政処分類型の変更(薬剤師法第8条)
- 行政処分を受けた薬剤師の再教育の義務付け(薬剤師法第8条)

平成21年

- 薬学共用試験スタート
- 医薬品販売制度の改正

平成22年

- 長期実務実習スタート
- 薬害肝炎の検証及び再発防止のための医薬品行政のあり方検討会最終報告
- 「チーム医療の推進に関する検討会報告書(厚生労働省)」取りまとめ

平成24年

- 6年制第1期生卒業
- 新たな薬剤師国家試験実施
- 中学校学習指導要領変更「医薬品の正しい使い方教育」

2. 薬剤師の任務

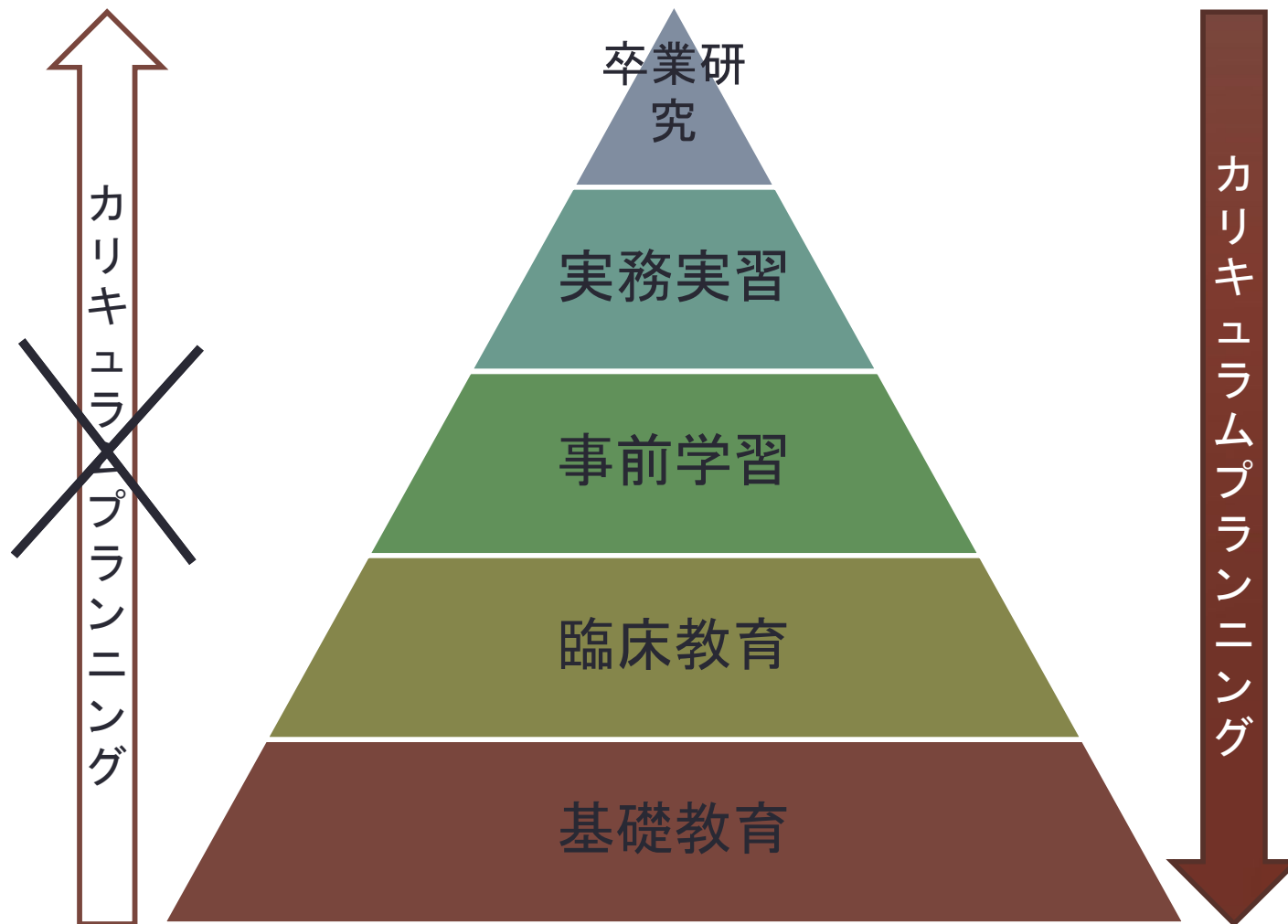
薬剤師法第一条(薬剤師の任務)

薬剤師は、調剤、医薬品の供給その他薬事衛生をつかさどることによって、公衆衛生の向上及び増進に寄与し、もって国民の健康な生活を確保するものとする。

3. 薬剤師養成教育を考える

- 薬剤師の任務
- 任務を果たすために薬剤師に求められる資質
- 卒業時の実践的能力を設定
- そのためのカリキュラムを組み上げる
 - Outcome-Based Education

4. カリキュラムプランニング



5. Outcome-Based Education (学習成果基盤型教育)

Spady 1988

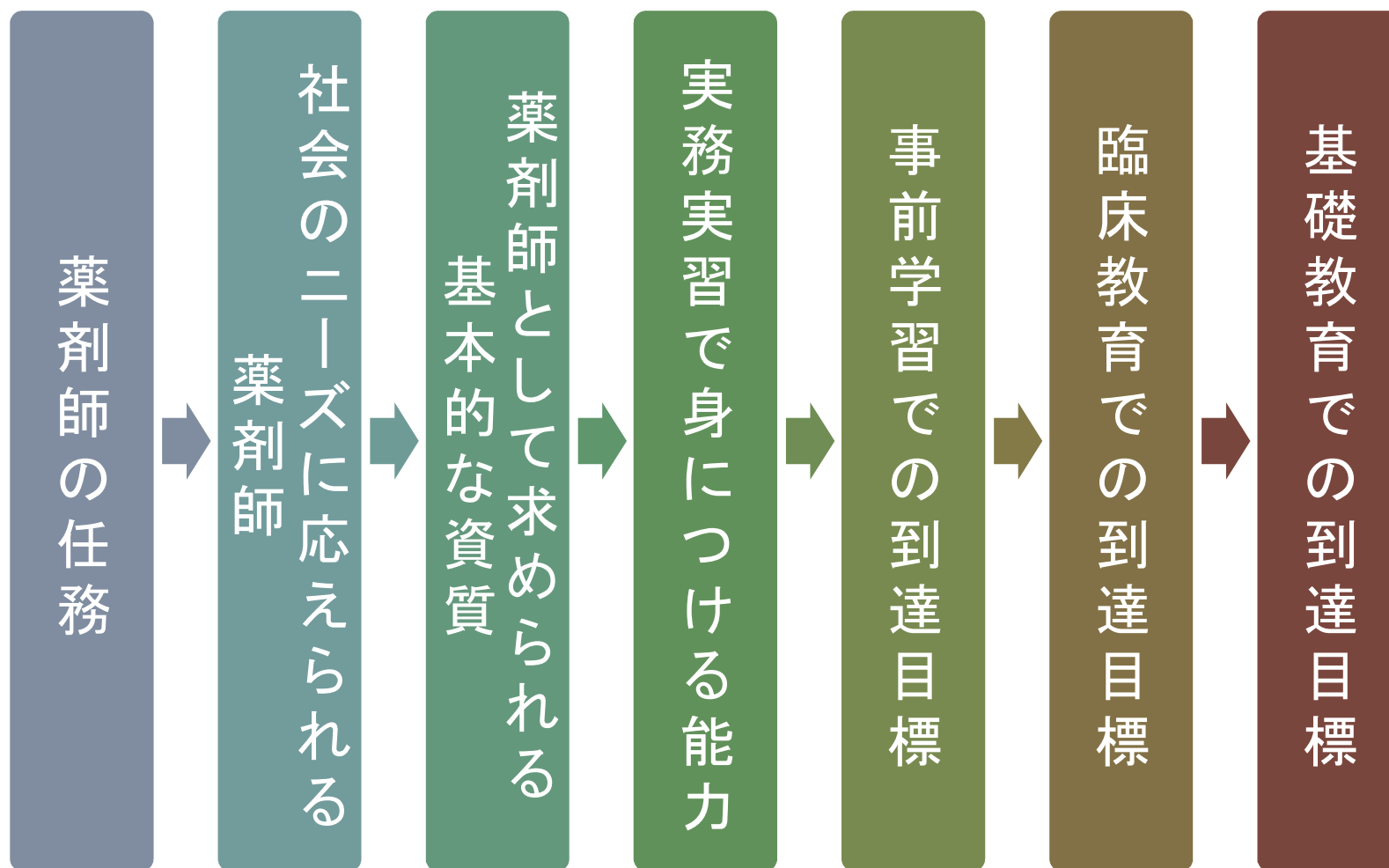
卒業時達成目標(アウトカム、学習成果)から、それを達成するようにカリキュラムを含む教育全体をデザイン、作成、文書化する教育法

Harden 1999

卒業目標を設定し、それを達成できるように目標、方法、評価など教育全体をデザインする。

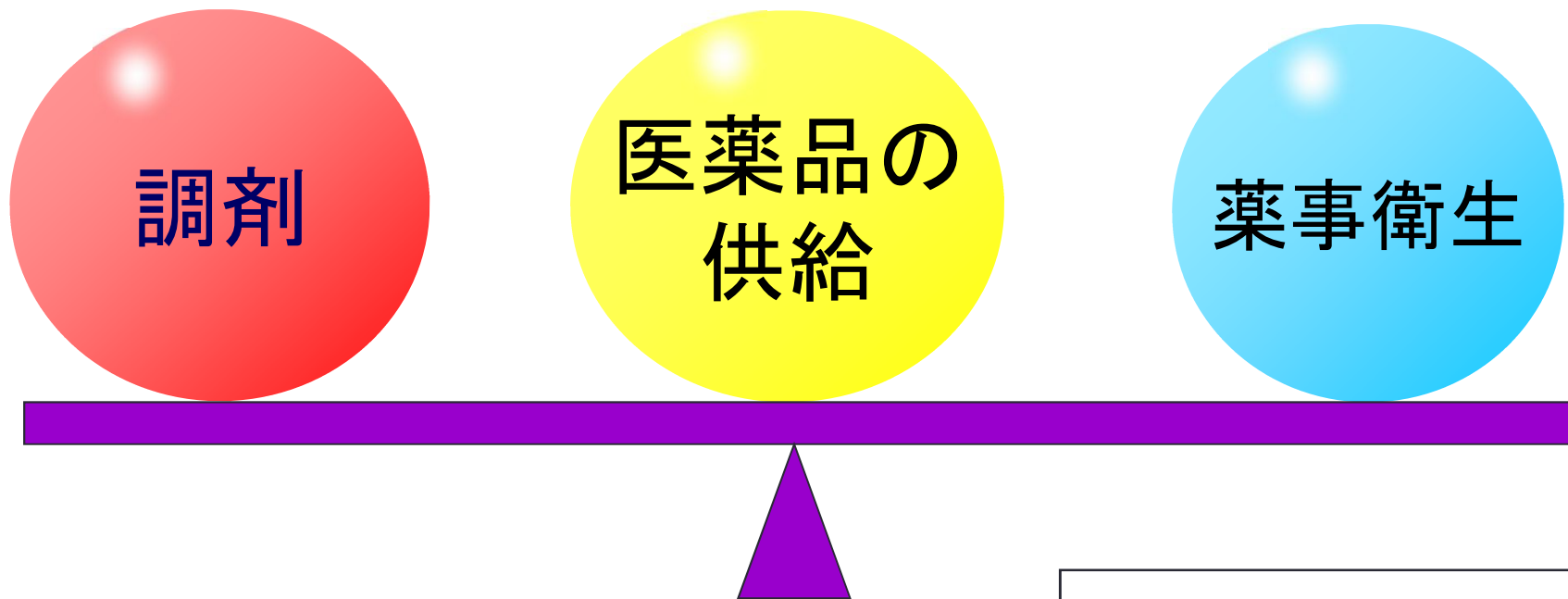
卒業目標を達成できるように1年次から順次性のある学習目標を設定するラセン型カリキュラム

6. Outcome-Based Education (学習成果基盤型教育の例)



7. 薬学教育の偏り

- 「調剤、医薬品の供給その他薬事衛生をつかさどる」
- 薬剤師法第1条



資料提供：武政文彦先生

7. 薬学教育の偏り



支点の偏り／
視点の偏り？

資料提供: 武政文彦先生 一部改変

8. 一般用医薬品に関する教育

D2 病院・薬局で学ぶ

4) 薬局カウンターで学ぶ

1. かかりつけ薬局の役割について指導薬剤師と話し合う。
2. 患者、顧客に対して適切な態度で接する。
3. 疾病の予防および健康管理についてアドバイスできる。
4. セルフメディケーションのための一般用医薬品などを適切に選択できる。
5. 医師への受診勧告を適切に行うことができる。
6. 患者からモニタリングによって得た副作用情報への対応策について説明できる。

D1 病院・薬局に行く前に

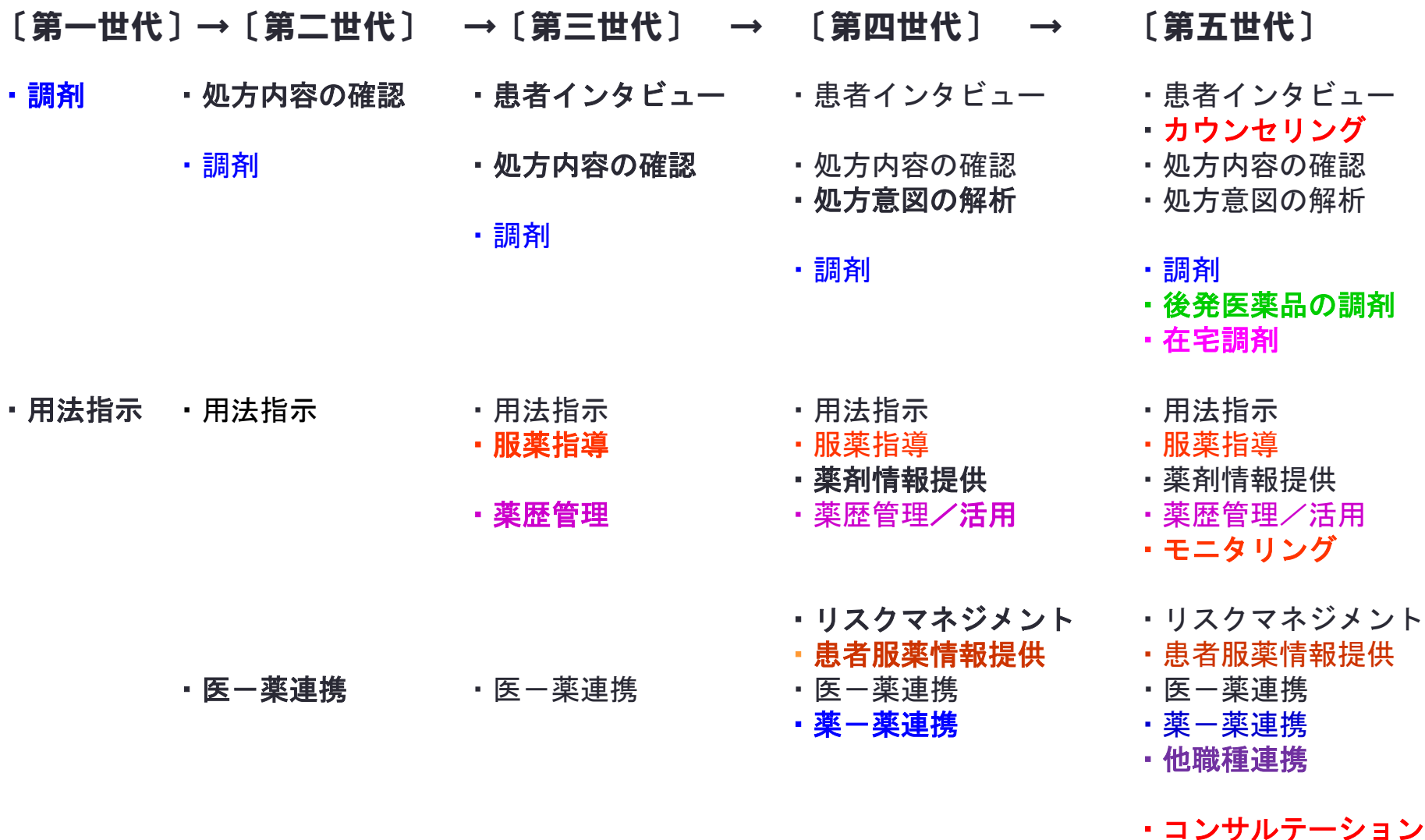
一般用医薬品に関する教育なし

C18薬学と社会 (3)コミュニティファーマシー

【OTC薬 セルフメディケーション】

1. 地域住民のセルフメディケーションのために薬剤師が果たす役割を討議する。
2. 主な一般用医薬品(OTC薬)を列挙し、使用目的を説明できる。
3. 漢方薬、生活改善薬、サプリメント、保険機能食品について概説できる。

9. 調剤業務の変化



10. コア の 概念

- 薬剤師としてのコア
- 社会のニーズに伴ったコア
- 大学の理念に基づいた教育

11. モデル・コアカリキュラムへの現場からの 主な意見

全体について

- ・全体として、よくできている
- ・モデル・コアカリキュラムがあったから、均一の実習が行われた
- ・共通の理念がない(薬学教育の目標)
- ・医療を取り巻く環境、社会のニーズ、薬剤師業務の変化から
GIOを検討する必要があるのではないか
- ・それに伴い、SBOsの検討も必要である
- ・時代が変化しても基本となるコアがあるのではないか

11. モデル・コアカリキュラムへの現場からの主な意見

全体について

- ・GIOに意識が行かずに、SBOsをこなすことにとらわれている
- ・カリキュラムが過密である(コアの概念を検討)
- ・実務実習で知識教育が多い
 - 知識は、事前学習までに修得しておいてもらいたい
 - 現場では、知識を基にした技能・態度を学ぶ
- ・基礎教育、臨床教育、事前学習、実務実習と一貫した教育が行われていないのではないか
 - 例) 事前学習に一般用医薬品に関する事項がない
- ・事前学習までの教育が、調剤を中心のカリキュラムとなっている(一般用医薬品、薬事衛生部分の教育が不足)

11. モデル・コアカリキュラムへの現場からの主な意見

SBOs、LSについて

- ・表現のわかりにくいSBOsがある
- ・新たに追加するSBOsがあるのではないか
- ・削除するものがあるのではないか
- ・LSが業務に合っていない
 - 実施が難しいLSがある
 - LSを業務に合わせて、整理する必要があるのではないか

カリキュラムプランニング

- ・積み上げ方式からOutcome-Based Education(学習成果基盤型教育)へ変えるべきではないか

12. 知識教育から技能・態度教育へ

実務実習モデル・コアカリキュラム 薬局実習より

【処方せんの受付】

1. 処方せん(麻薬を含む)の形式および記載事項について説明できる。
2. 処方せん受付時の対応および注意事項について説明できる。
3. 初来局患者への対応と初回質問表について説明できる。
4. 初来局患者および再来局患者から収集すべき情報の内容について説明できる。
5. 在庫品がない時の適切な対応方法を選択できる。(技能)

12. 知識教育から技能・態度教育へ

実務実習モデル・コアカリキュラム 薬局実習より

【調剤録】

1. 調剤録の法的規制について説明できる。
→ 大学で学ぶこと
2. 調剤録への記入事項について説明できる。
→ 大学で学ぶこと
3. 調剤録の保管、管理の方法、期間などについて説明できる。
→ 現場で確認すること



1. 調剤録を作成できる。
2. 調剤録の保管、管理ができる。

13. モデル・コアカリキュラムの見直しに向けて

基本理念について

- ・薬剤師の任務(薬剤師法第1条)が基本
- ・実践能力の高い薬剤師の養成
- ・共通の「基本理念」に基づいてモデル・コアカリキュラムを作成

教育全体のデザインについて

- ・Outcome-Based Education(学習成果基盤型教育)へ
- ・薬剤師として求められる基本的資質の検討

位置づけについて

- ・コアの概念の再検討
- ・薬剤師としてのコア
- ・社会のニーズ伴ったコア
- ・それぞれの大学の理念に基づいて特色あるカリキュラムを作成